



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
107

平成29年2月24日

家庭教育支援交流モデル事業



サロンの参加者が実際に軍手で
作ったヨーヨーです。

遊びにおいでよ！ほのぼののサロンへ

青森県総合社会教育センターでは子育てサロンを実施しています。

今年度から家庭教育支援交流モデル事業として、「ほのぼののサロン」を実施しています。この事業は「家庭に関する情報交換や悩み相談等を通して相互に学び合う」ことを目的に、日常的な親同士のつながりや子育ての先輩たちとの交流の場を作り、子育ての悩みや不安、負担感の軽減を図る等、課題解決への糸口を見つけていく内容となっています。子育て中の親子が立ち寄り、集える場として、新しい仲間と出会い、子育てに関する情報収集の場としても活用されています。

利用している保護者の感想

- 手遊び、絵本、工作などバランスよくプログラムされている点がよかったです。
- 気になっていることを話したら、支援者の方が「みなさんはどうですか？」と問題共有を促してくれたことが嬉しかったです。
- 子どもがいろんな人とふれ合う他、私も他のママさんの話を聞けるのがとても楽しいです。



家庭教育支援者の感想

手遊びや読み聞かせなどの交流を通して、親子に寄り添い、見守る活動をしています。子育てのちょっと困ったこと、心配なこと等の相談に乗り、アドバイスをすることで、子育ての負担感や孤立感が軽減されるお手伝いができると思っています。

何回か重ねる毎にお母様方、お子さんとも顔なじみになり、いろいろな話を聞けるようになってきました。誰でも安心して来られるような、言葉がけ、雰囲気づくりを心がけたいと思います。

このように、利用している保護者の皆様には、「ほのぼののサロン」の内容に満足していただいているようです。保護者の皆様の笑顔を見て、家庭教育支援をされている方々のモチベーションも上がり、次回のサロンの計画へと、活動の幅が広がっています。充実した内容となっていますので、興味を持たれた方は、一度、サロンをのぞきにいらしてください。

開催日時：毎月1回、午前10時～正午

会場：青森県総合社会教育センター ほのぼのルーム

対象：乳幼児から小学生までの子を持つ親や家族等（0歳～未就学児）

内容：おしゃべりタイム、親子で小物づくり、親子で季節の遊び、子育て相談など

その他：利用料無料、暖房完備、飲食可（ゴミはお持ち帰りください）

問い合わせ：教育活動支援課（017-739-1270）

青森県総合社会教育センター

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp>

第28期 パワフルAOMORI！創造塾のキセキ

パワフルAOMORI！創造塾とは、平成元年に開所した青森県総合社会教育センターが、28年もの間、「次代の青森県を担う人財を育成する」ことを一貫した趣旨として継続してきた事業です。今年度、合宿型の講座にリニューアルし、内容の深化と実践力の強化を図った一連の「軌跡」を御紹介します。

◆ 第1回講座 8月20日(土)～21日(日) 「オモイ」×「オモイ」=∞(無限大)

(1) 特別講演「あおもりの元気をつくる人づくり～未来を変える挑戦～」

講師 三村申吾氏(青森県知事)



パワフルに、自分の「オモイ」に生きてほしい！今後の活動に期待します！

(2) 講義・演習「わたしがコトをおこしたとき」

講師 稲村理紗氏(まちづくりファンテーター)



自分の中にあるモヤモヤがスタート。地域と関わるまちづくりは「まちづくりエイティブ！」可能性は無限大です！

(3) 講義「成功の秘訣～3人の師から直伝3つの取組姿勢～」

講師 坂本徹氏(青森県総合社会教育センター所長)



現状を冷静に見つめ、「真の目的」達成のための目標を設定する。そのプロセスが事業・イベントであることを忘れずに！

◆ 第2回講座 9月17日(土)～18日(日) ブラッシュアップ！わたしの「オモイ」

(1) 講義・演習「地域のおもしろがり企画」

講師 大粒來里紗氏(hati style)

「私にはこれだ！」というものに、やっと出会えた瞬間があった。結果的に、それが地域にとっての「私なりの面白いコト」だった！



◆ 第3回講座 11月19日(土)～20日(日) あなたの「オモイ」を「カタチ」に！

(1) 講義・演習「地域の魅力再発見！」

講師 鹿田智嵩氏(路地裏探偵団団長)



1人ぼっちのスタートだったが、気負わず、遊び心を忘れず、しかし、誠実にやり続けたら仲間ができていた。これからも「まちの個性」を伝えたい！

◆ 第4回講座 12月3日(土)

わたしのアクションプラン大自慢大会

23人の塾生が10分間のプレゼンテーションを行い、一人一人の「オモイ」を「カタチ」に表しました。初めてプレゼンする方もいて緊張しながらも、塾生相互に「こうしたら、もっと良くなるよ。」「すごい！真似してやってみたい。」などの熱い意見交換を行い終了しました。



プレゼン終了後、パワフル「AOMORI」ポーズ！

◆ 塾生たちの「その後」

当塾は、仲間のネットワークを強化し、卒塾後も自主的に活動していくことを目的の1つとしています。既に、県内各地において、塾生同士の協力でイベントを行っています。「いつの間にか活動していた。」(塾生談)これは「奇跡」ではなく必然です。あなたも塾生になり、パワフルなAOMORIの未来を創造しませんか？

キャリアサポの魅力∞（無限大） 大学生座談会

日々研修と交流を行いながらキャリアサポを続ける大学生21名に集ってもらい、始めた理由や続けている理由、キャリアサポをまだ知らない大学生へのメッセージなどを語ってもらいました。彼らは大学や学部、学年、出身などが異なる中、青森県の高校生のために頑張っています。その秘めた想いをお聞きください。※大学生の表記は、キャリアサポで使用しているニックネームとなっています。

始めたきっかけ

- **アッキ** 友達にサークル説明会に誘われた。出てみたら楽しそうだった。
 - **けんけん** 高校時代にキャリアサポを体験していた。学部のオリエンテーションで説明を聞き、やってみようと思った。
- ◎高校時代にキャリアサポを体験した人はどれくらいいますか？
- **参加者** (拳手) 3人
 - **まほりん** 高校の時にあがり症がひどくて、一時期はクラスメートと話すことも難しかった。そういう自分を変えたくて入ってみた。



続けている理由

- **ベルギー** 高校生と将来について話すことで、自分の将来について考えることもできるから自分のモチベーションを高く保てられる。
 - **けんけん** 出会いの多さがある。大学生との出会い、高校生との出会い、将来を考える自分との出会いがあるのでやめられない。
 - **ほしかな** 新しい自分が見つかるから。キャリアサポを続けていくうちに、自分ってこういうこともできるんだという発見や高校生から教えられることもたくさんあり、知らない自分を知ることができる。
- ◎3年生になっても4年生になっても新たな発見はあるものかな？
- **参加者** あるある。(一同頷く)

き
つ
と
見
つ
か
る
！
新
し
い
自
分
！



キャリアサポをまだ知らない大学生に一言

- **えびちゃん** 本気になれる。
- **はぶらし** いろいろなきっかけがある。自分が頑張るきっかけ、高校生がキャリアサポを体験して頑張るきっかけなど、大学生も高校生も頑張るきっかけがある。
- **りいぼん** 自分は指示待ち人間だったんだけど、自分で考えて行動できるようになったし、堂々と人前で話ができるようになった。
- **MAO** キャリアサポをやることで身につく力は、コミュニケーション能力だけではなく、人付き合いなどいろいろある。

◎他にみんなはどんな力が身に付いたかな？

- **ベルギー** 自信。
- **えびちゃん** まわりを信頼する力。
- **そのあさ** 積極性。
- **けんけん** 向上心。

これだけは言っておきたい一言

- **うみんちゅ** 高校生は、キャリアサポのように環境さえ整えられれば、みんな自分の将来について考えられる。だからこそ、これからもキャリアサポを通して、大学生が高校生の考えるきっかけ作りをしていくことが大切なんだと思う。

今年度はのべ1,000人程の大学生がキャリアサポに参加し、24の高校を訪問、3,800人の高校生と出会いました。来年度も、多くの熱意ある大学生が参加してくれることを期待しています。

高校生 × 大学生 キャリアサポートプログラム

キャリアサポとは？

高校生と大学生によるワークショップ「キャリアサポ」では、対話とラベルワークを通して、大学生が高校生の将来へ向けた一歩を踏み出すきっかけづくりを行います。また、大学生にとっても、自分の将来を見つめ直す機会となっているだけではなく、コミュニケーションやプレゼンテーション等のスキルアップにもなり、互いに成長を促す「win-win」のプログラムになっています。



大学との連携

県内4つの大学と連携し、参加状況やレポートの提出によりキャリアサポの活動を単位認定しています。また、各大学でサークルとしても活動しているほか、サークルの連合体を組織して自主的な活動も行っています。

講座受講生のビフォーアフター（第6回）

六ヶ所村教育委員会

社会教育課
社会教育主事
中央公民館
主幹

高田 真澄（たかだますみ）さん

豊川 沙織（とよかわさおり）さん



高田さん



豊川さん

平成28年度「公民館パワーアップ講座」受講生

講座を受講して公民館運営・地域活性化のヒントを得る

Q なぜ、この講座を受講しようと考えましたか？

高田：毎年、センターで実施している講座には参加しようと思っています。昨年度は「中堅職員研修」に参加しました。今年度は、本講座のチラシを見て、研修内容に魅力を感じました。「公民館パワーアップ講座」という名称にも惹かれました。

豊川：今年度初めて公民館に配属になりました。社会教育課兼務で、主に公民館の仕事をしています。教育委員会の勤務が初めてでわからないことが多く、ぜひ全4回に参加しようと思いました。

Q 講座を受講した感想や、参考になったことについて教えてください。

高田：社会教育は奥が深く、勉強すればするほど迷ってしまう面があります。そんな中、第1回の講義では、社会教育のあるべき姿を改めて聞き、初心に返ることができました。日々業務に取り組んでいますが、講義を聞くことで自分を見つめ直し、軌道修正できます。パネルトークでは、パネリストが公民館職員であり、各公民館の取組が大いに参考になりました。第3回の「青少年教育」に関する講座では、人材育成の仕組みづくりが勉強になりました。山形県川西町での事例に、人材育成の理想像を見ました。市町村により実情は異なるので全てを取り入れることはできませんが、自分の市町村での実践にヒントをもらえます。

豊川：第2回の「まちづくり」に関する演習では、他地区の方と交流しながら活動できました。六ヶ所村は南北に長く、北部と南部で互いのことを深く知らない実態があります。南北相互の交流を図り、村を活性化させる事業づくりのヒントになりました。また、私は学校のPTAにも関わっていますが、PTAの行事で村の文化財巡りもできると感じました。講座を受講することで、今まで気付かなかったことに気付くことができ、発想が豊かになります。



グループで和やかに演習。話の内容は、真剣そのもの。

Q 講座の内容を参考にして、今後実践してみたいことについて教えてください。

高田：村では、受講生が受講生のままで終わってしまっている実態があります。受講生からは講座終了後「来年もやってね」という声が上がりますが、受講生が講師として活動するようになるなど、講座を発展させたい思いがあります。村では「生涯学習講演会」を行っていますが、今後は演習も取り入れていきたいと考えようになりました。例えば地元で頑張っている方を講師に招き、まちおこしの演習をするなど、変革したいと思っています。住民を「育てる」という視点を大事にし、村民の生涯学習に対する意識が前向きになるよう努力したいと考えています。

豊川：村の講座づくりのヒントになりました。高田さんとの会話の中でも、「生涯学習講演会」を単なる講演会ではなく、村民を巻き込んで、これまでと手法を変えて実施したいと考えようになりました。講演会に参加してもらうだけでなく、例えば住民がサークルを立ち上げられるような支援をしていきたいと考えています。住民のアンケート調査でも出ていますが、村民の多くは、忙しく時間的ゆとりがない。それだけに、いかに興味をひく講座を作れるか、これが自分たちの腕の見せ所だと感じています。

Q これから講座を受講したいと思っている人へのメッセージをお願いします。

高田：研修で得たことの何を業務に活かすかはその人次第であり、それを見つけていくべきだと思います。受講した後の豊川さんとの会話でも、講座から得たヒントが異なり、驚きます。

豊川：初めて公民館に配属になった方には、特に受講をお勧めします。グループワークなどでは他の市町村の方とも交流ができ、参考になることが多いです。ぜひ、たくさん参加してほしいです。

公民館パワーアップ講座…公民館機能を活性化するため、公民館・市民センター職員等を対象に、公民館運営に必要な知識及び技術等について研修を行い、公民館関係職員相互の連携を図る講座です。年4回実施し、今年度は3回目までで、のべ101人の受講生が参加しました。